

入札公告

次のとおり一般競争入札に付します。

令和 8 年 7 月 2 1 日

国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産技術研究所南勢拠点長事務取扱 正岡 哲治

1. 調達内容

- | | |
|----------------|--|
| (1) 調達件名及び数量 | 優良種苗生産情報共有システム開発のためのプログラミング業務一式 |
| (2) 調達仕様 | 入札説明書による。 |
| (3) 履行期限 | 令和 9 年 2 月 2 6 日 |
| (4) 履行場所 | 大分県佐伯市上浦大字津井浦
国立研究開発法人水産研究・教育機構 上浦庁舎 |
| (5) 入札方法 | 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の 1 0 0 分の 1 0 に相当する額を加算した金額（当該金額に 1 円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の 1 1 0 分の 1 0 0 に相当する金額を入札書に記載すること。 |

2. 競争参加資格

- (1) 国立研究開発法人水産研究・教育機構契約事務取扱規程（平成 1 3 年 4 月 1 日付け 1 3 水研第 6 5 号）第 1 2 条第 1 項及び第 1 3 条の規定に該当しない者であること。
- (2) 令和 7 ・ 8 ・ 9 年度国立研究開発法人水産研究・教育機構競争参加資格又は全省庁統一資格の「役務の提供等業務」の業種「情報処理」の資格保有者であること。
- (3) 国立研究開発法人水産研究・教育機構理事長から物品の製造契約、物品の販売契約及び役務等契約指名停止措置要領に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。
ただし、全省庁統一資格に格付けされている者である場合は、国の機関の同様の指名停止措置要領に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。
- (4) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 7 7 号）第 3 2 条第 1 項各号に掲げる者でないこと。

3. 入札説明書等の交付方法

- 競争参加希望者は、以下により入札説明書等（入札説明書、入札心得書、契約書案、入札書様式、委任状様式等）の交付を受けること。
- ① 直接交付
大分県佐伯市上浦大字津井浦
国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産技術研究所上浦庁舎 管理チーム
電話 0 9 7 2 - 3 2 - 2 1 2 5
F A X 0 9 7 2 - 3 2 - 2 2 9 3
- ② 宅配便着払いによる交付
任意書式に「優良種苗生産情報共有システム開発のためのプログラミング業務入札説明書宅配便にて希望」と記入し、社名、担当者名、住所、電話番号を記載のうえ、上記①あて F A X 送信すること。
- ③ メールによる交付
任意書式に「優良種苗生産情報共有システム開発のためのプログラミング業務入札説明書メールにて希望」と記入し、社名、担当者名、メールアドレス、電話番号を記載のうえ、上記①あて F A X 送信すること。

4. 入札説明会の日時及び場所等

仕様書等に関し質疑がある場合には、令和 8 年 7 月 2 9 日までに上記 3. あてにメール（アドレスは入札説明書に記載）又はファックスにて質疑を行うこと。当日までの質疑を取りまとめ、回答は入札説明書受領者全員に

対して行うとともに当機構のホームページにて公表することにより入札説明会に代える。
なお、当該日以降に質疑が発生した場合も随時受け付け、同様に対応する。
ただし、質疑内容に個人に関する情報であって特定の個人を識別し得る記述がある場合及び法人等の財産権等を侵害するおそれのある記述がある場合には、当該箇所を伏せ又は当該質疑を公表せず、質疑者のみに回答することがある。

6 . 入札の日時及び場所等

- (1) 入札の日時及び場所

令和 8 年 8 月 6 日 1 0 時 0 0 分
大分県佐伯市上浦大字津井浦
国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産技術研究所上浦庁舎 会議室
- (2) 郵便による入札書の
受領期限及び提出場所

令和 8 年 8 月 5 日 1 7 時 0 0 分
3 . ① に同じ。

7 . そ の 他

- (1) 契約手続きにおいて
使用する言語及び通貨

日本語及び日本国通貨。
- (2) 入札保証金及び契約保証金

免除。
- (3) 入札の無効

本公告に示した競争参加資格のない者の提出した入札書及び入札に関する条件に違反した入札書は無効とする。
- (4) 契約書作成の要否

要。
- (5) 落札者の決定方法

予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。
ただし、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札した他の者のうち最低の価格をもって入札した者を落札者とすることがある。
- (6) 競争参加者は、入札の際に国立研究開発法人水産研究・教育機構の資格審査結果通知
書写し又は全省庁統一資格の資格審査結果通知書写しを提出すること。
- (7) 詳細は入札説明書による。

8 . 契約に係る情報の公表

- (1) 公表の対象となる契約先

次の①及び②いずれにも該当する契約先

① 当機構において役員を経験した者（役員経験者）が再就職していること又は課長相当職以上の職を経験した者（課長相当職以上経験者）が役員、顧問等※注1として再就職していること

② 当機構との間の取引高が、総売上高又は事業収入の3分の1以上を占めていること※注2

なお、「当機構」とは、改称前の独立行政法人水産総合研究センター及び国立研究開発法人水産総合研究センター、統合前の独立行政法人水産大学校を含みます。

※注1 「役員、顧問等」には、役員、顧問のほか、相談役その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、経営や業務運営について、助言すること等により影響力を与えると認められる者を含む。

※注2 総売上高又は事業収入の額は、当該契約の締結日における直近の財務諸表に掲げられた額によることとし、取引高は当該財務諸表の対象事業年度における取引の実績による。
- (2) 公表する情報

上記(1)に該当する契約先について、契約ごとに、物品役務等の名称及び数量、契約締結日、契約先の名称、契約金額等と併せ、次に掲げる情報を公表する。

① 当機構の役員経験者及び課長相当職以上経験者（当機構OB）の人数、職名及び当機構における最終職名

② 当機構との間の取引高

③ 総売上高又は事業収入に占める当機構との間の取引高の割合が、次の区分のいずれかに該当する旨

- ④ 3 分 の 1 以 上 2 分 の 1 未 満 、 2 分 の 1 以 上 3 分 の 2 未 満 又 は 3 分 の 2 以 上
一 者 応 札 又 は 一 者 応 募 で あ る 場 合 は そ の 旨

(3) 当 機 構 に 提 供 し て い た だ く 情 報

- ① 契 約 締 結 日 時 点 で 在 職 し て い る 当 機 構 O B に 係 る 情 報 (人 数 、 現 在 の 職 名 及 び 当
機 構 に お け る 最 終 職 名 等)
② 直 近 の 事 業 年 度 に お け る 総 売 上 高 又 は 事 業 収 入 及 び 当 機 構 と の 間 の 取 引 高

(4) 公 表 日

契 約 締 結 日 の 翌 日 か ら 起 算 し て 原 則 と し て 7 2 日 以 内 (4 月 に 締 結 し た 契 約 に つ い て
は 原 則 と し て 9 3 日 以 内)

(5) そ の 他

当 機 構 ホ ー ム ペ ー ジ (契 約 に 関 す る 情 報) に 「 国 立 研 究 開 発 法 人 水 産 研 究 ・ 教 育 機 構
が 行 う 契 約 に 係 る 情 報 の 公 表 に つ い て 」 が 掲 載 さ れ て い る の で ご 確 認 い た だ く と と も
に 、 所 要 の 情 報 の 当 機 構 へ の 提 供 及 び 情 報 の 公 表 に 同 意 の 上 で 、 応 札 若 し く は 応 募 又 は
契 約 の 締 結 を 行 っ て い た だ く よ う ご 理 解 と ご 協 力 を お 願 い い た し ま す 。
な お 、 応 札 若 し く は 応 募 又 は 契 約 の 締 結 を も っ て 同 意 さ れ た も の と み な さ せ て い た だ
き ま す の で 、 ご 了 知 願 い ま す 。

9 . 公 的 研 究 費 の 不 正 防 止 に か か る 「 誓 約 書 」 の 提 出 に つ い て

当 機 構 で は 、 国 よ り 示 さ れ た 「 研 究 機 関 に お け る 公 的 研 究 費 の 管 理 ・ 監 査 の ガ イ ド ラ イ ン
(実 施 基 準) 」 (平 成 1 9 年 2 月 1 5 日 文 部 科 学 大 臣 決 定) に 沿 っ て 、 公 的 研 究 費 の 契 約 等
に お け る 不 正 防 止 の 取 り 組 み を 行 っ て お り 、 取 り 組 み の ひ と つ と し て 、 取 引 先 の 皆 様 に 「 国
立 研 究 開 発 法 人 水 産 研 究 ・ 教 育 機 構 と の 契 約 等 に あ た っ て の 注 意 事 項 」 (URL : https://www.fra.go.jp/home/keiyaku/files/plledge_requestnote_contract2.pdf) を ご 理 解 い た だ き 、 一
定 金 額 以 上 の 契 約 に 際 し て 、 当 該 注 意 事 項 を 遵 守 す る 旨 の 「 誓 約 書 」 の 提 出 を お 願 い し て い
ま す 。

公 的 研 究 費 の 不 正 防 止 関 係 書 類 (① 公 的 研 究 費 の 不 正 防 止 に か か る 「 誓 約 書 」 の 提 出 に つ
い て 、 ② 国 立 研 究 開 発 法 人 水 産 研 究 ・ 教 育 機 構 と の 契 約 等 に あ た っ て の 注 意 事 項 、 ③ 誓 約
書) は 、 入 札 説 明 書 に 添 付 し ま す の で 、 契 約 相 手 方 と な っ た 場 合 は 、 誓 約 書 の 提 出 を お 願 い
し ま す 。

な お 、 当 機 構 の 本 部 、 研 究 所 、 開 発 調 査 セ ン タ ー 、 水 産 大 学 校 い ず れ か 1 箇 所 に 1 回 提 出
し て い た だ け れ ば 、 当 機 構 内 の 次 回 以 降 の 契 約 で は 再 提 出 す る 必 要 は あ り ま せ ン 。

業務仕様書

1. 業務名 優良種苗生産情報共有システム開発のためのプログラミング業務
2. 業務目的 本業務は、ブリの種苗生産現場における各種記録のデジタル化を推進し、記録作業の効率化を図るとともに、データの継続的な蓄積および活用を可能とし、生産状況の比較・分析を容易にするため、種苗生産に関する各種情報を一元的に管理し、生産状況の把握、記録の標準化、分析および可視化ならびにそれらの共有を可能とする Web アプリケーション「優良種苗生産情報共有システム」の開発に係るプログラミングを行うものである。
3. 業務期限 令和9年2月26日
4. 納入場所 大分県佐伯市上浦大字津井浦
国立研究開発法人水産研究・教育機構水産技術研究所上浦庁舎
5. 業務内容 本業務では、優良種苗生産情報共有システムの新規開発として、要件定義から設計、実装、試験及び本番環境構築までを一連の業務として実施すること
 - (1) 要件定義
 - 1) 別紙「システムに関する要求事項」に示した事項を踏まえ、それらを実現するための具体的なシステム要件を定義すること
 - 2) 上記に基づき、要件定義書を作成すること
 - (2) 設計
 - 1) 要件定義書に基づき、システム全体の構成、データ構造、画面構成および画面遷移並びに各機能の処理内容、入出力項目等を具体化する設計を行うこと
 - 2) 上記に基づき、基本設計書および詳細設計書を作成すること
 - (3) 実装
 - 1) 設計書に基づき、各機能のプログラム実装を行うこと
 - 2) 各機能について単体テストを実施し、設計仕様どおりに動作することを確認すること
 - (4) 結合試験・総合試験
 - 1) 複数機能を組み合わせた結合試験を実施し、機能間の連携および一連の業務フローが正しく動作することを確認すること

- 2) 実際の利用シナリオを想定した総合試験を行い、システム全体としての妥当性および安定性を確認すること
- 3) 上記試験について、試験仕様書・成績書を作成すること

(5) 納品準備

- 1) Docker を用いて本番環境を構築し、同一構成を再現可能な状態でシステム一式を納品できるようにすること
- 2) 受入試験は国立研究開発法人 水産研究・教育機構水産技術研究所（以下、「技術研」という。）において実施することを想定し、受入試験に必要な試験環境、手順および関連資料の提供並びに必要な調整を行うこと

(6) 運用支援

- 1) システムの利用者を対象とした操作マニュアルを作成すること
- 2) 必要に応じて、管理者を対象とした操作マニュアルを作成すること
- 3) 操作マニュアルは、実際の運用を想定し、画面遷移や操作手順が分かりやすく記載されたものとする

(7) 成果物の納品

- 1) 以下の成果物を、DVD 等の電子媒体に記録して納品すること
 - ① 要件定義書
 - ② 基本設計書
 - ③ 詳細設計書
 - ④ 試験仕様書・成績書
 - ⑤ 操作マニュアル（利用者向け、管理者向け）
 - ⑥ 優良種苗生産情報共有システム一式（ソースコードおよび本番環境）

(8) その他

- 1) 請負に当たり以下の条件を満たすこと
 - ① 請負者の条件として、過去 5 年間に種苗生産もしくは栽培漁業に関するシステムを開発した実績があること
 - ② プロジェクト全体の進捗管理、品質管理及びリスク管理を統括するため、プロジェクトマネージャ試験合格者 1 名以上を担当者として配置すること
 - ③ 種苗生産関連のサイバーセキュリティへの対応として、情報処理安全確保支援士 1 名以上を担当者として配置すること
 - ④ 要件定義及びアーキテクチャ設計を主導するため、システ

ムアーキテクト試験合格者 1 名以上を担当者として配置すること

- 2) 請負者は「優良種苗生産情報共有システム」が将来の運用・保守や改修において、特定の事業者不必要に依存した情報システムとならないよう、以下につき留意すること
 - ① 提供するソフトウェア等は、特定ベンダーの技術に依存しない、オープンな技術仕様に基づくものとする
 - ② 提供するソフトウェア等は、全てオープンなインタフェースを利用して接続又はデータの入出力が可能であること
 - ③ 導入するソフトウェア等の構成要素は、標準化団体（ISO、IETF、IEEE、ITU、JISC 等）が規定又は推奨する各種業界標準に準拠すること
- 3) 本業務で得られた成果物は、技術研の帰属とすること
- 4) 請負者は、本業務で製作した著作物について、著作権人格権（公表権、氏名表示権、同一性保持権）を行使しないこと
- 5) 請負者は、「優良種苗生産情報共有システム」に係る情報の適切な管理およびセキュリティリスクの低減を図る観点から、本業務の遂行にあたっては以下の事項に留意すること
 - ① 請負者は、本業務の遂行を日本国内においてのみ行うものとし、本業務の全部または一部を日本国外の第三者へ再委託し、または日本国外の拠点において自ら遂行してはならない
 - ② 請負者は、本業務に関わる一切の成果物、ソースコード、仕様書、および技術研から開示された情報を、日本国外へ持ち出し、転送、または日本国外からアクセス可能な状態に置いてはならない
- 6) 詳細については、担当職員の指示に従うこと

【別紙】システムに関する要求事項

1. システムの目的

本システムは、人工種苗の生産に係る各種情報を一元的に管理し、生産状況の把握、比較および分析を可能とすることで、優良種苗の生産技術の向上および知見の共有を支援することを目的とする。

また、本システムは複数機関での利用・共有を前提とするため、生産ロットごとに所有者ユーザを設定し、所有者ベースのアクセス制御により閲覧権限を管理することで、ロット単位の公開・非公開制御を行えるものとする。

2. 管理の基本単位および構造

本システムでは、人工種苗の生産を「生産ロット」を基本単位として管理する。各生産ロット内には複数の「飼育群」を保持する構造とし、各種飼育データは飼育群単位で管理する。なお、飼育群は分割および統合が発生するため、各飼育群の由来および履歴（親子関係）を追跡可能とする。また、生産ロットはユーザにより所有されるものとし、ユーザは所属機関に紐づく構造とする。

3. 公開設定に関する要求

公開設定は、生産ロット単位で設定可能とし、公開範囲（全体公開、任意の機関に対する公開、機関内公開、非公開）を指定できるものとする。

4. 管理および記録対象情報

本システムでは、生産ロットおよび飼育群を単位として、以下の情報を記録・管理できること。

(1) 生産ロット情報

- ・所有者
- ・名称
- ・記録状態のステータス（記録中 or 記録終了）
- ・ふ化日
- ・初期収容尾数
- ・取り上げ尾数
- ・生残率
- ・飼料および栄養強化方法
- ・備考
- ・公開設定

(2) 飼育群情報

- ・帰属する生産ロット
- ・名称

- ・記録状態のステータス（記録中 or 記録終了）
- ・飼育開始日
- ・備考
- ・飼育群の履歴管理

（3）飼育データ

以下の情報を飼育群単位で時系列に記録できること。

- ・日々の飼育管理に関する情報（水温、溶存酸素、pH、水槽水量、注水量、日照時間、死亡尾数、給餌情報等；資料 1）
- ・生残尾数に関する情報（柱状サンプリング、取り上げ尾数、塩水選別；資料 2、3）
- ・生理および摂餌状況に関する情報（開腔、ワムシ摂餌；資料 4、5）
- ・成長情報（全長測定；資料 6）

なお、一部のデータについては個体単位の情報を含む場合がある。

（4）ログ

ログイン履歴、データの登録・更新・削除履歴を記録すること。なお、データ保持期間は 1 年とし設定変更可能とする。

4. 可視化および分析に関する要求

本システムは、蓄積されたデータを用いて以下を可能とすること。

- ・生産ロット単位での各種イベントを時系列表示できること
- ・生産ロットに紐づく飼育群を一覧表示できること
- ・飼育群に紐づく飼育データを横断的に一覧表示できること
- ・飼育群に紐づく飼育データを日齢別に一覧表示できること（資料 1）
- ・特定のデータ項目（全長測定、開腔、ワムシ摂餌、塩水選別、柱状サンプリング、取り上げ尾数）について、項目別に一覧表示できること
- ・各種データについて、時系列推移をグラフ表示および比較（生産ロット間、飼育群間）できること（資料 7）

5. 入出力および操作性に関する要求

現場での運用を考慮し、以下を満たすこと

- ・入力負荷の軽減および繰り返し入力の効率化が図られていること
- ・簡易な操作でデータ登録が可能であり、入力頻度の高い作業に適した操作性を有すること
- ・モバイル端末で利用可能であること
- ・日齢単位で各種データの入力および出力が可能であること
- ・データ項目ごとに CSV 形式による一括入力および一括出力機能を有すること

6. その他

本仕様に定めのない事項については、担当職員の指示に従うこと。

以上

資料1 日々の飼育管理に関する情報

飼育群：水槽：日付：2024/5/7 (日齢10)

【環境データ】

★環境情報①

	水温(℃)	DO(mg/L)	pH	貝化石(g)	ナンノ(L)
AM					
PM					

★環境情報②

飼育水槽水量	
注水量	
点灯時刻	
消灯時刻	

★死亡尾数

	尾数	備考
①	2000	底掃除
②	100	サンプリング
③		

備考

【給餌データ】

★ワムシ

	給餌方法	開始時刻	終了時刻	残密度 (個/mL)	給餌量 (徳個)
①	一括/連続				
②					
③					
④					

★アルテミア

	時刻	給餌量	給餌直後	30分後	60分後
①					
②					
③					
④					

★配合飼料

時刻		種類	給餌量(g)
①	⑤		
②	⑥		
③	⑦		
④	⑧		

資料2 柱状サンプリング・取り上げ尾数に関する情報

飼育群ID	日付	推定方法	推定尾数	備考
frakami_0001_01	2022/5/2	柱状サンプリング	324734	
frakami_0001_01	2022/5/3	柱状サンプリング	391667	
frakami_0001_01	2022/5/5	柱状サンプリング	285294	
frakami_0001_01	2022/5/7	柱状サンプリング	239005	
frakami_0001_01	2022/5/9	柱状サンプリング	189153	
frakami_0001_04	2022/6/14	重量法	20639	
frakami_0001_05	2022/6/14	重量法	34450	
frakami_0001_06	2022/6/21	重量法	38886	
frakami_0001_07	2022/6/21	重量法	67027	

資料3 塩水選別に関する情報

飼育群ID	日付	供試尾数	浮上尾数	沈下尾数	備考
frakami_0001_04	2022/6/15	20639	18148	2491	
frakami_0001_05	2022/6/15	34450	30244	4206	
frakami_0001_07	2022/6/21	47553	42433	5120	

資料 4 開腔に関する情報

飼育群ID	日付	時刻	観察尾数	開腔尾数	備考
frakami_0001_01	2022/5/4	11:00	20	0	
frakami_0001_01	2022/5/4	14:00	20	0	
frakami_0001_01	2022/5/5	13:00	20	5	
frakami_0001_01	2022/5/6	13:00	20	12	
frakami_0001_01	2022/5/7	13:00	20	16	
frakami_0001_01	2022/5/8	13:00	20	15	
frakami_0001_01	2022/5/9	13:00	20	19	

資料 5 ワムシ摂餌に関する情報（個体別バックデータあり）

飼育群ID	日付	測定尾数	摂餌個体率	平均ワムシ摂餌数	備考
frakami_0001_01	2022/5/4	20	0.35	3.3	
frakami_0001_01	2022/5/5	20	1	12.7	
frakami_0001_01	2022/5/6	20	0.95	19.4	

資料 6 全長測定に関する情報（個体別バックデータあり）

飼育群ID	日付	測定尾数	平均全長(mm)	備考
frakami_0001_01	2022/5/2	20	4	
frakami_0001_01	2022/5/3	20	4.1	
frakami_0001_01	2022/5/4	20	4.2	
frakami_0001_01	2022/5/5	20	4.6	

資料7 各種データのグラフ表示イメージ

